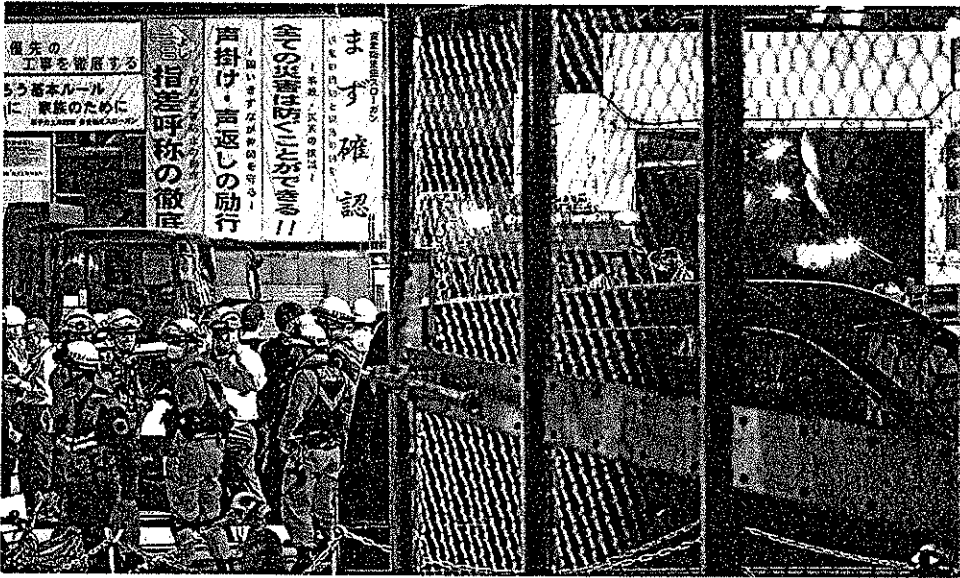


高浜原発で9人搬送

トンネル内 一酸化炭素中毒か



作業員9人が救急搬送された事故現場（右奥がトンネル）＝19日午後6時23分、高浜町田ノ浦で

十九日午後三時五十分ごろ、関西電力高浜原発（高浜町）の敷地内にあるトンネルで工事をしている元請けの建設会社社員から「作業員が意識を失った」と一十九番があった。溶接作業をしていた男性二人が倒れたほか、男性七人が気分が悪さを訴え、計九人が救急搬送された。十代の一人が重症、八人が軽症だが全員意識はある。小浜署は一酸化炭素(CO)中毒とみている。

全員意識あり

署によると、現場は発電所の正門近くから掘られたトンネルの入り口から五百メートルほどの地点。付近には十八〜六十四歳の計十人の作業員がいた。倒れた人は外へ運び出されると意識を回復した。

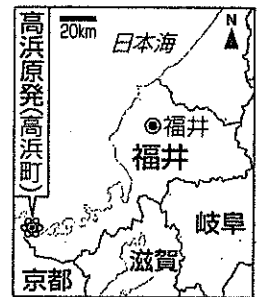
関電によると、トンネルは運転停止中の高浜原発1、2号機で、テロ対策の特定重大事故等対処施設（特重施設）を建設するための作業用。関連会社の作

業員が十八日から壁の補強工事のためアーク溶接の作業をしており、十九日は午

現場騒然 へりも出動

「トンネル内で男性が酸欠状態で倒れている」。現場となったトンネル付近は、通報を受けた消防車や救急車が何台も駆けつけ、物々しい雰囲気になった。

ドクターヘリも出動して作業員を搬送した。午後七時四十五分ごろには、防護服に身を包んだ警察官がトン



前九時に作業が始まった。

高浜原発は3、4号機が再稼働し、1、2号機は四十年超の延長運転に向け安全対策の工事中。1、2号機の特重施設は法令で二〇二一年六月までに建設する必要がある。関電は今年四月の時点で施設の設置が期限より一年半遅れるとの見通しを示し、建設を急いでいた。関電は原因究明できるまで、高浜と大飯両原発で行っているトンネル工事を停止した。

ネル内に入った。

小浜署によると、現場付近にいたのは十八〜六十四歳の十一人。最初に二人の作業員が頭痛や吐き気などを訴えた。うち十代の一人がトンネル内で意識を失ったが、外へ運び出されると意識を回復。ほかの作業員も自力で脱出した。